キャラクター名
道化師

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ソラリス	ワークス	アーティスト	カヴァー	ピエロ
オプショナル		年齢	？	性別	？
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32 %
出自	双子	経験	伝説	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	3	1	0		3	7
社会	3	0	0			3

HP	29
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	3		交渉		
回避			知覚	1		意志	2		調達		
運転：			芸術：	2		知識：			情報：	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
影毒	ＲＣ	7r+3		3		ダメージを与えた場合邪毒ダメージ
影毒LV2100↑	ＲＣ	7r+3		4		邪毒UP3×6
影毒顎	ＲＣ	7r+3		3		ダメージを与えた場合邪毒ダメージ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：実験体	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2							
効果：								
雲散霧消	4	4	オート	至近	範囲（選択）	自動	—	
効果：	HPダメージを［LV×５］軽減　１ラウンドに一回							
猛毒の雫	5	2	メジャー	至近	—	—	—	
効果：	ダメージを与えた場合　バットステータス邪毒							
癒しの水	3	2	メジャー	視界	—	（RC）	—	
効果：	HPを（LV）D+【精神】）点回復							
貪る顎門	2	3	メジャー	視界	範囲（選択）	（RC）	—	
効果：	射撃攻撃が命中した場合対象に放心をあたえる　1シーンにLV回数							
飢えし影	1	1	メジャー	視界	—	（RC）	—	
効果：	攻撃力+LV+２							
イージーフェイカー	1							
効果：	ディメンションゲート取得							
影絵芝居	1	—	メジャー	視界	シーン	—	—	
効果：								
傍らの影法師	1	—	メジャー	至近	自身	—	—	
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

経歴不詳の謎多きオーヴァード。
その容姿は出会う度に代わっていると言われる。
成人男性、女性、老人、童子、果ては動物に至るまでその姿は千差万別。
数々のオーヴァード事件に関わるり、場をひっかきまわすこともあれば。UGN、FHに協力又は敵対することも。
わかっていることは道化師は常に“無口”な助手を傍らに置いていることくらいである。

※以下道化師の正体
道化師はレネゲイドウィルスの実験のために生み出された、デザインベイビー（モルモット）の1人。
所謂、死んで欲しくない個体にはできない実験をするための実験体である。
彼又は彼女たちはその存在意義の通り、レネゲイドウィルスの活性化のために薬物投与、対照実験、外部からの刺激による変化など一日に数体ペースで消費される消耗品。そのため、自我は極限まで形成されないように作られている。
そんな、個体の1人。現在の道化師はβ365と呼ばれる個体で、レネゲイドウィルスに適応できずに死んだ個体として、同じような個体と共に焼灼処分された。
その焼却中にβ365はオーヴァードとして覚醒、ゴミ捨て場にて復活を果たす。
しかし、自我のないβ365からしてみれば生の喜びも自分を破棄した実験施設の連中への憤怒、恨みもなく、一日中何をすることもなくただ空を眺めるだけであった。
そんなβ365の元に現れたのは、ゴミを収集しアートを作る世界的芸術家「古村一切」であった。古村はβ365を見たとき、こう言い放つ。
「あら～、可愛い子ね。　まるでお人形さんみたい！」
β365はこの日を境に、古村の作品の一つ「道化師」となる。
戸籍上のは「古村道化」として登録されている。

古村の手により、最低限度の文化的生活を送れるようになった「道化師」は古村と共に過ごす日々が続いた。ある時、「道化師」はふっとあるものが欲しくなっ